

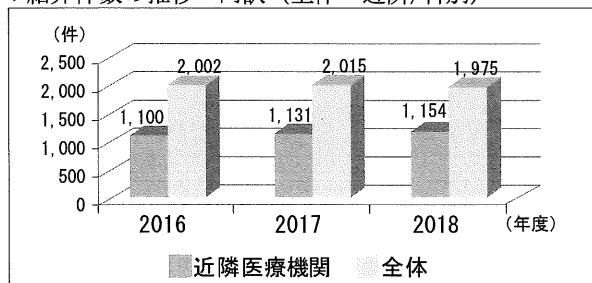
## 1. 地域連携室の体制

2018年度は看護師2名、社会福祉士1名の体制で連携・退院支援を行った。

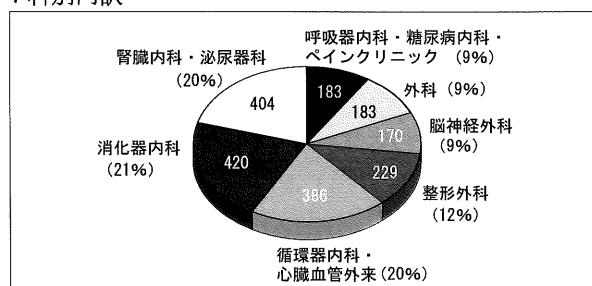
## 2. 地域連携（紹介）

全体の紹介件数は1,975件、近隣医療機関（三角町、大矢野町、松島町・宇土市の一帯）からの紹介は1,154件で、前年度より減少した。紹介元をみると、2018年度も全体の約58%が近隣医療機関からの紹介で、科別としては消化器内科、泌尿器科・腎臓内科、循環器内科への依頼が多かった。また、医師の新加入や済生会熊本病院の協力で、ペインクリニック、脳神経内科外来を新たに開始した。近隣医療機関にかかりつけの患者さんが、紹介を経由せず当院へ直接入院した件数を集計しているが、2018年度もほぼ同数で推移した。（下記のグラフを参照）。今後も近隣医療機関にかかりつけの患者さんが直接当院へ入院された場合、患者さんに確認を取りながらかかりつけ医への情報提供を徹底していきたい。

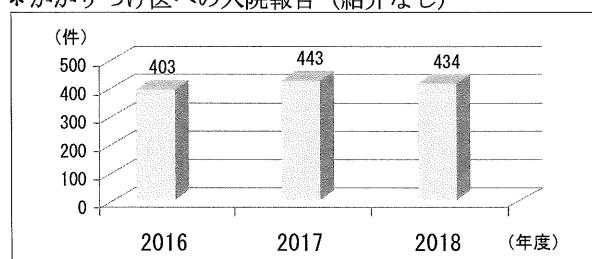
\*紹介件数の推移・内訳（全体・近隣/科別）



\*科別内訳



\*かかりつけ医への入院報告（紹介なし）



## 3. 連携活動（連携先訪問）

2018年度は36回連携先を訪問した。訪問目的としては医師、連携担当者、訪問看護ステーションへの挨拶や紹介患者さんの経過報告、連携上何か問題がなかったかご意見を伺うためであった。また、新しい取り組みとして、済生会熊本病院脳卒中センターの回診に数ヵ月おきではあるが、参加させて頂く機会を得た。回診の中で当院への要望を伺い改善につなげた例もあり今後も継続していきたい。

## 4. 在宅診療

2018年度より地域包括ケア入院医療管理料1の取得を目

標に、訪問診療の立ち上げに取り組んだ。まず、外来通院中の患者から対象となる患者を絞り込み、通院時に案内を行い、希望の有無を確認することから開始した。また、診察待合中、目に止まるようなインフォメーションを表示したり、患者・家族向けのリーフレットを作成し、訪問診療開始の案内を継続した。開始当初は希望されない方も多かったが、8月には施設基準である3ヵ月20件以上の訪問診療を実現することができ、9月に地域包括ケア入院医療管理料1の取得へつなげることが出来た。死亡や通院への切り替えなどで中止となる患者もいる中で、現在は外来看護師へ役割を引き継ぎ、活動を継続している。また、在宅医療の一端として、比較的病状が安定した患者さんを中心に進めつつ、終末期患者においても数件の診療を実施、患者の望む自宅療養に繋げられた症例もあった。今後も、患者・家族の意向を確認しながら、外来や地域（ケアマネジャーや訪問看護師）と協働しながら、診療継続へ繋げていきたい。

## 5. 退院支援

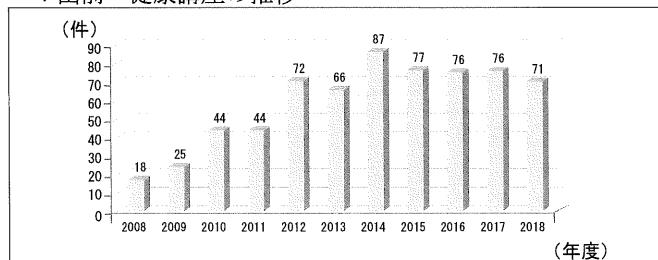
2018年度は退院支援加算Iについて995件の算定を行った。また、5月より入院支援加算の算定を開始し、62件の算定を行った。各病棟に配置されている医療ソーシャルワーカーと退院支援看護師と協働し、高齢化の進む地域環境の中、入退院支援に取り組んでいる。

その他、安心安全な在宅療養支援のため、病棟の退院支援専任者が退院前訪問指導料4件、退院支援看護師が退院後訪問指導を7件算定し、うち1件は訪問看護ステーションと同行訪問を行った。2018年度より外来の継続看護を強化し、病棟と外来の連携が図れるように体制を整え、外来継続看護チームで情報共有している。退院後の外来受診時の介入、外来サマリーの作成やカンファレンスの開催を行っている。今後も切れ目のない看護の提供ができるよう看護部の退院支援プロジェクトチームと協働し継続看護や外来通院中の患者が入院となった際の体制を整え、より充実した入退院支援を行っていきたい。

## 6. 出前・健康講座

2018年度は前年度より若干減少し71回の開催となった。この活動は、2008年度の開始から現在までに延べ700回以上実施し、ここ数年、年間70件前後と地域に定着した事業となっている。しかし、ここ最近当院の診療圏外からの依頼が増加し、スタッフの通常業務にも支障が出てきたため、派遣範囲の見直しを行った。具体的には派遣範囲を宇城市三角町、宇城市不知火町松合地区まで、上天草市、天草市、宇土市は網田町までとし、平日のみの開催とした。担当者としては、制限をかけたことで依頼が大幅に減少するのではないかと懸念したが、対象の地区から多くの依頼があり大幅減とはならなかつた。結局、地域にこの活動のニーズがあることを再確認することとなつた。

\*出前・健康講座の推移



## 7. 次年度の計画

2018年度は訪問診療の本格稼働、急性期病院への定期的な回診参加など、当院の機能強化や連携機関との関係を密にするきっかけを作ることができた。次年度は今回実施したことの精度をさらに向上させていきたい。